

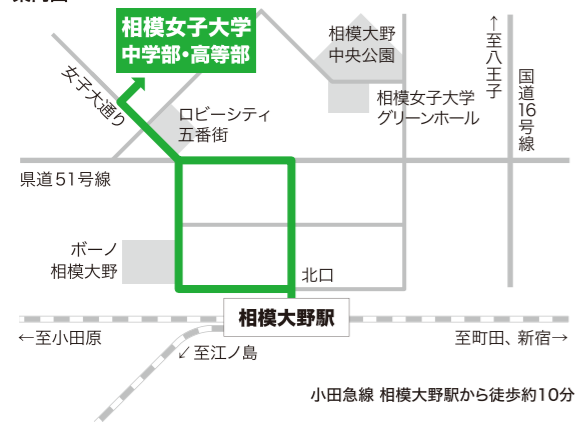
説明会情報はこちら▶



路線図 数字は、各路線最寄駅までの乗り換えを含む所要時間の目安です。




案内図



相模女子大学 中学部・高等部
Sagami Women's University Junior & Senior High School

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1
TEL. 042-742-1442 FAX. 042-742-1441
<https://www.sagami-wu.ac.jp/chukou/>



 学園キャラクター さがっは・ジョー

在学生有志の学園キャラクタープロジェクトから2014年に誕生。フランス庭園の池に棲みついており、学園のみんなに愛されています。相生祭などのイベントでは池から出てきて一緒に遊んでくれます。説明会で会えるかも!?

Sagami Girls

Image Book 2027



いっぱい笑って、たくさん学んで、毎日が充実。





Programming

プログラミング

「正解のない課題だから、うまくいなくても失敗ではない」と知り、勇気が出て自分のアイデアを発言できるようになりました。プログラムには苦勞するけれど、パートナーと意見を出し合いながら試行錯誤して、ミッションをクリアできた瞬間は、もう最高!「なぜ?」を考えること、協働すること、難くてもやり抜くことの素晴らしさを学びました。



Margaret Time

マーガレットタイム

妊婦さんや障がい者の方の大変さを体験したり、貧困や戦争について自分ごととして考えた...。「命」や生きることについていろいろな角度から見つめる学習は、答えがないからこそ、自分とどれだけ向き合えるかが求められているのだと感じます。「自分の人生の主人公は自分」当たり前のことだけど、それを実感できるからこそ、自分の生き方と向き合い、今できることは何かを考えるようになりました。



Lunch time

お昼休み

普段から明るいクラスが、もっと明るく和やかになる昼休み。とっても居心地がよくて、大好きです。お弁当を食べながら、話題になるのは授業のこと、部活のこと、趣味や推し活のこと、時には悩み相談も。友達の意外な一面を知れるのも楽しい。食後は静かに読書やイラスト描きに熱中する友達も。それぞれが自由に過ごす昼休みは、5時間目のウォーミングアップになる気分転換の時間です。



During class

授業中

授業中に話してくれる先生の話題が面白くて、その科目がもっと好きになる。そして先生の問いかけは、思わず「何だろう」と考えてしまう。だから自分の考えを言いたくなるし、友達の考えを聞いて思いがけない発想にびっくりしたり、自然と授業は盛り上がります。暗記や演習が大変な時もあるけれど、新しいことに触れて考える時間は楽しいです。



Group work

グループワーク

人はそれぞれ違うということを実感できるグループワーク。バラバラな意見をまとめていき、新しいアイデアが生まれた時の達成感！意見を言えなかった友達が発言できるようになったり、聞くのが苦手だった友達がみんなの意見を整理して提案してくれるようになったり、一人では決して得られなかった成長がある。そんな実感がクラス全体の成長や居心地のよさにつながりました。



Club activities

部活動

本気で頑張る仲間から刺激をもらって、私も頑張る。部活動で切磋琢磨することで、いろんな面で成長していると感じます。勉強との両立のために時間の使い方を考えるようになったり、自分の可能性を信じて、地道な努力ができるようになったり、つらい日もあるけれど、練習の成果が出た時や、試合に勝った日は、続けてきて良かった～って思います。



サガジョ『女子会』テーマ

マーガレットタイムを語ろう!

サガジョが10年以上前から大切に取り組んでいるマーガレットタイム。学校はどのような思いで授業をつくっているか、生徒はどんな刺激を受けているか。授業を離れた女子会で、それぞれの本音を気軽に語り合いました。

堤副校長: みんなが大好きなマーガレットタイム(MT)について、「女子会」ということで、気軽におしゃべりしましょう。

Oさん(高校生): 中学に入学した当初は、MTって道徳の授業なのかなと思ったのですが、学んでいくと全然違って。人として大切なテーマ、答えのない課題を考えたり友達と意見交換したり、自分で実際に体験したり、すごく楽しい時間でした。

Hさん(中学生): MTは、人生にとっていちば

ん身近で大切なことを学べる時間です。教科書もテストもないからこそ、自由で、とても難しくもあります。

堤副校長: そうね、深いテーマだから難しく感じる時もきっとあるよね。MTの目標は、自己肯定感と自己実現。自我の確立の途中にいる中高生時代にこそ大切なことです。人生において壁にぶつかったり女性としてライフステージの岐路に立った時に、考えるヒントになったり自分の可能性を信じて踏み張れ

たり、背中を押してくれる力になればいいなあと思うながらつくっている授業です。

将来を夢見たり、世界を見つめたり

Hさん: 私は自分の夢を詰め込んだ作品をつくった「ドリームマップ」、班の中でお互いの個性の良いところを褒め合う「ポジティブシャワーを浴びよう」、それから妊婦さんの大変さを実感できた「妊婦体験」が印象に残っています。

Oさん: 私は自分から視野を広げていこうと思ったことはなかったのですが、「農業体験」や「妊婦体験」をしてみて、さまざまな環境にいる人たちのことを自然に考えられるようになりました。将来に関しても、「農業体験」を通じて食べ物や栄養のことに興味をもち、海外の子どもたちの生活の動画を見て栄養と医療が自分の中でつながって管理栄養士を目指し…。そこから今は臨床検査技師へと夢は変わったけれど、MTの経験が原点になっています。

堤副校長: 高校ではMTはマーガレットクエスト(MQ)に発展し、自分でテーマを設定して探究する時間に変わりますね。

Oさん: MQでは課題解決のためにどうアプローチするか考えることがメインになりますが、MTはまずは知る、感じる、体験することがメインで楽しかったです。

命の、そして自他の尊さを実感

Hさん: ほんと、体験して初めて実感できることばかり。生卵を紙コップに入れて首から



中学3年 Hさん



高校3年 Oさん

下げて過ごす経験をした時には、大事な命を自分が守っているんだと感じたし、私も両親にこんなに大切にされてきたんだと身をもって知ることができました。

堤副校長: 落としたり割れちゃう卵を使って、繊細な命を宿している感覚を体感してもらおうという授業でしたね。

Hさん: 友達が卵の担当になってる時も、みんなで気遣ったりして…。赤ちゃんは、周りの人にも支えられて育つんだということも実感しました。

Oさん: 命は大切なものだと思っていても、漠然としていて、ちゃんと考えたことがなかった私にとって、MTは思いがけない刺激がいっぱいでした。

堤副校長: 自分も他者も尊い存在としてどう関わるか、についても学んでいます。人の考え方は多様で、友達と自分が違っていても良いと実感できたり、自分の意見の伝え方を考えられるようになったという声が聞かれるけど、Hさんはどう感じているかな?

Hさん: たしかに!1年生の時の合唱コンクールでは練習の段階で意見が対立してギスギスしちゃったことがあったけど、アサーティブな表現を学んだ3年生ではみんな言葉だけでなく伝え方も考えるようになって、とても雰囲気良く楽しくて。

堤副校長: ああ、それはうれしい! MTは、中1は「自分と向き合う」、中2で「社会と向き合う」、中3では「命のバトンを学ぶ」というステップで学んでいきますが、みんな一人ひとり気づくタイミングや成長の速度が違う。私たちは、できるだけたくさん種を蒔いて、そのなかのひとつでも、いつか生徒それぞれの中で芽吹いてくれたらと願っているの。最後に、あなたたちにとってMTはどんな時間だった?

Oさん: やりたいことの追求や、生きるための引き出しを増やしてくれた時間かな。友達との協働が多くて楽しかったです。

Hさん: 一言で言えば、自分を見つめ直す時間。社会を見る目も変わりました。



堤副校長



相模女子の1日

勉強や行事、部活動に全力で取り組む学校生活には、たくさんのお会いや発見が待っています。学習面では、ICTを活用しながら、確かな学力と自信を身につける授業を展開。音楽や美術で豊かな感性や品格を育み、家庭科や保健体育では生きていく知恵や技術、健康についても学びます。



・2027年度より週5日制を導入
 ・授業は月～金曜日の平日5日間で、週32時間の学びを確保
 ※土曜日は、学校行事や特別活動などで登校する場合があります

年間行事

1年間、多くの行事が彩る学校生活。生徒たちが主体となる行事では、研鑽力・発想力・協働力が培われます。試行錯誤のなかで深まる仲間との絆や達成感、つくり手として参加してこそ得られる貴重な体験です。創造することへの積極的な姿勢や自信が、生徒たちの笑顔につながっています。

- 4月 ● 始業式 ● 入学式 ● 部活動紹介 ● 新入生歓迎会
- 5月 ● 生徒総会 ● 防災訓練 ● 体育祭 ● 面談週間
- 6月 ● プロジェクトアドベンチャー(1年生) ● 宿泊語学研修(2年生)
- 7月 ● 1学期終業式 ● 夏期講習 ● 海外研修(希望者)
- 8月 ● 夏期講習
- 9月 ● 2学期始業式 ● 面談週間
- 10月 ● 芸術鑑賞会 ● 創立記念日 ● 防災訓練 ● 漢字検定(全員受検)
- 11月 ● 相生祭 ● 生徒会選挙 ● 普通救命講習
- 12月 ● 修学旅行(3年生) ● 2学期終業式 ● 冬期講習
- 1月 ● 3学期始業式 ● 書き初め ● 英語検定(全員受検)
- 2月 ● 合唱コンクール ● 学習成果発表会
- 3月 ● 卒業証書授与式 ● 修了式 ● スキー・スノーボード教室



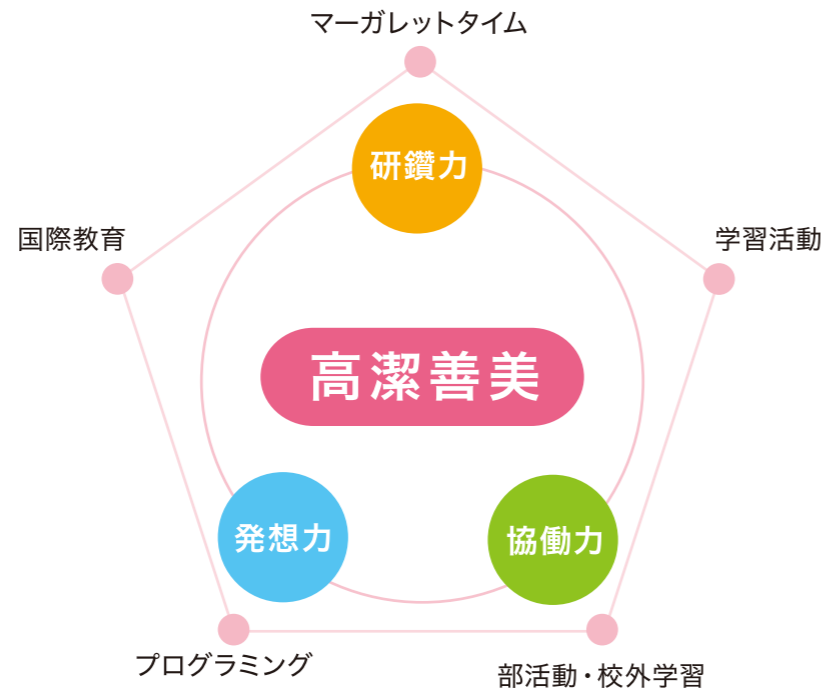
私は進む、 夢に、未来に、私らしく

子どもたちは
かけがえのない存在であり、
はてしない可能性をもっています。

それぞれの
個性と才能を輝かせるために、
本当に必要な学びとは何か。
相模女子大学中学部・高等部は、
一人ひとりの成長に伴走しながら、
新たな視点で
真の教育を追求していきます。

柔軟に思考し、探究し、
創造する力。
自分を信じ、夢を見つけ、
粘り強く叶えていく意志。

そのような「未来に生きる力」を
豊かに伸ばしていきます。



プログラミング教育

「なぜ？」を追いかけていこう、未来まで



子どもたちの未来に役立つ教育、社会がいかに変化しようとも対応できる人材の育成。それが相模女子でのプログラミング教育の意義であり目的です。単にロボットを動かすだけではなく、課題に対してどう取り組み行動するか、そのような思考の育成が主眼です。求められるのは想像力と創造力、分析力や協働力。最小限の説明でスタートする授業では、生徒たちはもてる力や知識を総動員して見つけた独自のやり方でゴールをめざします。

アンガーマネジメント

個々のコミュニケーション能力を高める

学校生活の中で、自分らしい毎日を送るためには、自分の気持ちを知ることが大切です。感情には様々な種類があり、その感じ方も人それぞれです。また、集団で生活するときに多くの人が感じるであろう不安やストレスは、上手につき合うことが難しいといわれている感情です。アンガーマネジメントでは、自分の気持ちや考え方の傾向に気づき、整理することで自己理解を深めます。自分の気持ちを知ることによって他者の気持ちも理解できるようになり、その場にふさわしい方法で自分の気持ちを表現するトレーニングをしていきます。生徒一人ひとりのコミュニケーション能力を高めることで、生徒同士が互いを尊重しながら対話を重ね、主体的に学校生活に向き合う土台づくりをしていきます。

マーガレットタイム

さまざまな「命」と出会う3年間



マーガレットタイムは、人の存在の尊さや、人と社会のつながりと向き合い、自分の生き方を考える時間。教科の枠を超えてさまざまな角度から「生きること」を学ぶカリキュラムで、豊かな感性を育みます。「観る」「聴く」「読む」だけでなく、自ら「調べる」「ふれる」を経験し、さらに「話す」「表現する」ことを通じて、自分が「かけがえのないただ一人の存在」であることや、いまここにいる奇跡を実感し、人生を主体的に考える姿勢を培います。

学園連携

園児から大学院生まで、ともに学ぶ仲間



幼稚園※から大学院までがひとつのキャンパスに集う総合学園の可能性を生かし、多彩な学園連携プログラムを推進。幼児教育の現場を体験する幼稚部ボランティア、大学の学びに触れる食育講座やサガジヨの学び講座など、教室を飛び出して出会う、年齢を超えたさまざまな交流は、自分の個性や役割を考える機会です。たくさんの発見や学びを通して、これからの社会に求められる発想力や思いやりの心が育っていきます。

※認定こども園 相模女子大学幼稚園



百年桜

本校舎

幼稚園
(認定こども園)

大学図書館
中高生の利用も可能!
40万冊の蔵書の中には
専門的な文献も多数

グラウンド

小学部

3号館
文具店や売店、本屋などがあり、
憩いのスペースとなっています。

大学グラウンド

イチョウ並木

第2・第3校舎

マーガレットホール

ビオトープ

正門
24時間の警備体制。
学園全体で生徒の
安全を見守っています。

東門
24時間の警備体制。
学園全体で生徒の
安全を見守っています。

125周年記念事業
新棟建設中



みんなに会えるのを
楽しみにしてるわっ!
学園キャラクター
さかべっはっジョー

元気と笑顔あふれる 緑美しいキャンパス

東京ドーム4つ分の広大なキャンパスは、樹齢70年を超える銀杏や200本の桜並木、ビオトープや農園など、四季の美しさを豊かに感じられる環境です。グラウンドなど身体を思いっきり動かせる空間も充実しています。



『校舎紹介』

本校舎

中世ヨーロッパのロマネスク建築を思わせるデザインは、伝統校としての品格を漂わせ、周囲の自然と調和しています。



教室

明るく広々とした教室には、上下可動式の大型黒板、冷暖房を完備。電子黒板、全員で同時にICT機器を使用できるWi-Fi環境なども整っています。



自習室

集中して自習したい生徒のために、放課後に開室。



図書館

開放的な空間に、約4万冊の幅広い分野の蔵書が並んでいます。



部活動

中学部では、6の運動部と7の文化部があり、多くの生徒が勉強と両立しながら全力で取り組んでいます。やりたいことや目標に向かって仲間と切磋琢磨するキラキラと輝く日々。生涯の友との出会いもあることでしょう。先輩や後輩とのコミュニケーションも、大切な学びになっています。



部活動一覧		高等部	
		弓道部	華道部
		水泳部	競技かるた部
中学部・高等部		スキー部	弦楽部
サッカー部	科学部	ソフトテニス部	JRC部
体操部	家庭科部	チアリーディング部	写真部
ダンス部	合唱部	テニス部	書道部
バスケットボール部	軽音楽部	モダンダンス部	箏曲部
バトントワーリング部	茶道部	陸上競技部	調理部
バドミントン部	吹奏楽部	ESS部	放送部
	美術部	演劇部	漫画研究部



制服紹介

中学部は伝統的なセーラー服、またスラックススタイルから個々の意向に応じて、より快適な服装を選択できます。高等部はブレザースタイル。スカートやカーディガン、ベストなどを自由にコーディネートして、高校生らしいオシャレが楽しめる人気です。

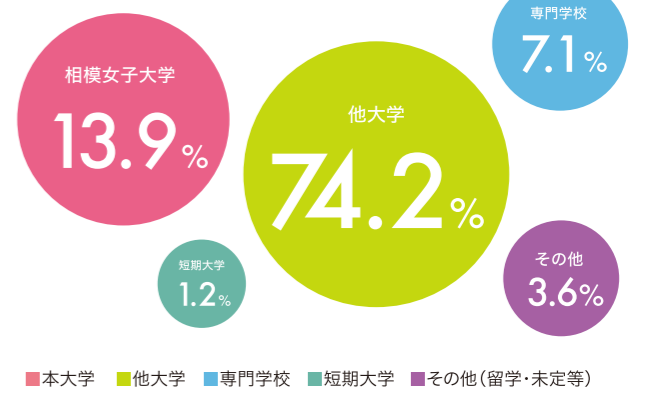


進路情報

「ドリームマップ」を第一歩とし、理想の未来を考える取り組みを通じて視野を広げ、必要な準備と努力を重ねます。一人ひとりがめざす進路、生き方を実現できるように、教員も一丸となってサポートします。



進学比率(2025年度卒業生337名)



進路相談 一人ひとりに合った丁寧なサポート

相模女子大学併設校の強みを生かしつつ、より困難な目標に挑戦する生徒も増えてきています。一人ひとりの相談に丁寧に対応することで、進路選択の的確なサポートをします。

講演会/セミナー 先人から学ぶ広い世界

さまざまな分野で活躍する女性や、最先端の研究に取り組む研究者などの講演を行っています。多くの可能性のなかから、自分の道を選ぶために広い世界を知ってほしいと考えています。

大学聴講講座 知的好奇心を育み、単位認定も

高校在学中に、相模女子大学・短期大学部の講義を大学生とともに聴講し、知的好奇心を育む取り組みです。相模女子大学へ進学した場合には単位認定されるため、大学生活にゆとりが生まれます。

「内部推薦制度」で相模女子大学へ進学することができます。

学芸学部 日本語日文学科 国際コミュニケーション学科(仮称) 子ども教育学科 メディア情報学科 生活デザイン学科	人間社会学部 社会マネジメント学科 人間心理学科 地域クリエーション学科(仮称)	
栄養科学部 健康栄養学科 管理栄養学科		相模女子大学

主な大学合格者数 [2025年度実績(既卒を含む)]

相模女子大学(49)	青山学院大学(2)	津田塾大学(6)	神奈川大学(23)	洗足学園音楽大学(1)	東京工科大学(6)	日本体育大学(4)
横浜国立大学(1)	立教大学(3)	日本女子大学(12)	神奈川工科大学(3)	玉川大学(12)	東京工芸大学(1)	星薬科大学(1)
東京海洋大学(1)	中央大学(6)	聖心女子大学(2)	関東学院大学(5)	帝京大学(8)	東京都市大学(5)	武蔵野大学(4)
神奈川県立保健福祉大学(2)	法政大学(4)	昭和女子大学(10)	北里大学(9)	帝京平成大学(3)	東京農業大学(10)	明治薬科大学(1)
防衛大学校(1)	学習院大学(1)	東京家政大学(2)	杏林大学(1)	桐蔭横浜大学(1)	東京薬科大学(4)	明星大学(7)
川崎市立看護大学(2)	成蹊大学(5)	実践女子大学(14)	工学院大学(2)	東海大学(14)	東邦大学(1)	横浜薬科大学(2)
愛知県立大学(1)	成城大学(8)	共立女子大学(10)	国際医療福祉大学(4)	東京医療保健大学(5)	日本医科大学(1)	その他私立大学(36)
豊橋技術科学大学(1)	明治学院大学(10)	大妻女子大学(12)	国士館大学(3)			
早稲田大学(4)	國學院大学(4)	白百合女子大学(1)	産業能率大学(8)			
慶應義塾大学(1)	日本大学(13)	女子美術大学(2)	芝浦工業大学(3)			
上智大学(3)	東洋大学(6)	フェリス学院大学(6)	昭和医科大学(5)			
明治大学(7)	駒澤大学(3)	麻布大学(6)	昭和音楽大学(1)			
	専修大学(10)	桜美林大学(19)	昭和薬科大学(4)			

卒業生の声

